殺虫剤
スピネトラム水和剤

ディアナ®SC

農林水産省登録　第22910号
（住友化学(株)登録）
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物 ：非該当
有効年限：3年
包装：（100㎖×10本）×6,
（200㎖×10本）×2

有効成分：スピネトラム・・・・・11.7%

殺虫剤分類 5

ディアナ®は住友化学(株)の登録商標です。

特長

○幅広い殺虫スペクトラムを示します。チョウ目害虫はもちろん、アザミウマ目害虫・ハエ目害虫に対しても防除効果を発揮しますので、幅広い害虫の防除が可能です。
○速やかな食害抑制効果を示します。チョウ目害虫に対して、速やかな摂食阻害活性を発揮しますので、被害の拡大（進展）を抑制します。
○ハマキムシ類に優れた効果を示します。各発育ステージ（卵・幼虫・成虫）に高い効果を示しますので、散布適期が広く使いやすい薬剤です。
○収穫（茶は摘採）前日まで使用が可能です。（キャベツは、収穫前日もしくは育苗期後半、稲は収穫7日前、らっきょうは収穫前日もしくは植付前まで）

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数
稲	イネツトムシ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	4000～6000倍	60～150ℓ	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内（直播でのは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）
		32～48倍	0.8ℓ			無人航空機による散布	
未成熟とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
トマト ミニトマト	コナジラミ類 チバクロバネキノコバエ	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 オオタバコガ トマトキバガ ハスモンヨトウ	2500～5000倍					
なす	コナジラミ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～5000倍					
ピーマン	コナジラミ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～5000倍					
とうがらし類 とうがん モロヘイヤ なんてん（葉） しょくようほおずき	アザミウマ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
だいこん	キスジノミハムシ	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類 カブラハバチ ハモグリバエ類	2500～5000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	スピネトラムを 含む農薬の 総使用回数
はくさい	アザミウマ類 ウワバ類 アオムシ オオタバコガ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後は2回以内）
ブロッコリー	アザミウマ類 ウワバ類 アオムシ オオタバコガ コナガ シロイチモジヨトウ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 2回以内）
	アオムシ コナガ ハスモンヨトウ	48倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
		96倍	3.2ℓ				
キャベツ	アザミウマ類	50～ 200倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊(30×60cm ・使用土壌約3～4ℓ） 当り0.5ℓ	育苗期 後半	1回	灌注	
	アザミウマ類 ウワバ類 ハモグリバエ類 アオムシ オオタバコガ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後は2回以内）
	アオムシ オオタバコガ コナガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	48倍	1.6～3.2ℓ			無人航空機 による散布	
		96倍	3.2ℓ				
かぶ	コナガ ハスモンヨトウ アオムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
なばな類	アザミウマ類 ハモグリバエ類 コナガ ハクサイダニ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
カリフラワー	コナガ アザミウマ類 アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後は2回以内）
非結球あぶらな科葉菜類 （こまつな、チンゲンサイ、なばな類を除く）	アザミウマ類 ハモグリバエ類 コナガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	スピネトラムを 含む農薬の 総使用回数
こまつな	アザミウマ類 ハモグリバエ類 アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	ハクサイダニ	2500倍					
チンゲンサイ	アザミウマ類 コナガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
メロン きゅうり	コナジラミ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ	2500～ 5000倍					
すいか	コナジラミ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 オオタバコガ ウリノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍					
かぼちゃ ばれいしょ	ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
たまねぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ	48倍	1.6～3.2ℓ			無人航空機 による散布	
		96倍	3.2ℓ				
葉たまねぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
ねぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギコガ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類	48倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
		96倍	3.2ℓ				
らっきょう	ネダニ類	2500倍	ー	植付前	1回	30分間 種球浸漬	3回以内 （植付前までの 処理は1回以内、 植付後は2回以内）
	アザミウマ類 ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	
にんにく	アザミウマ類 ネギコガ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
にら にら（花茎）	アザミウマ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	ネギコガ	2500倍					
しゅんぎく	アザミウマ類 オオタバコガ ハクサイダニ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数
レタス 非結球レタス	ハモグリバエ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ アザミウマ類	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
セルリー	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
にんじん	キアゲハ ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500倍					
ほうれんそう	アザミウマ類 ハスモンヨトウ シロオビノメイガ ハクサイダニ ハモグリバエ類	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	ホウレンソウケナガコナダニ	2500倍					
つるむらさき	ハスモンヨトウ	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
さといも	ハスモンヨトウ セスジスズメ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
かんしょ	ナカジロシタバ ハスモンヨトウ ヒルガオハモグリガ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
		32～40倍	0.8～1.6ℓ			無人航空機による散布	
		40～80倍	1.6ℓ				
さやいんげん	アザミウマ類 ハモグリバエ類 アズキノメイガ ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
豆類 （未成熟、ただし、さやいんげんを除く） 豆類 （種実、ただし、あずき、らっかせいを除く）	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類 マメシンクイガ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
あずき	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アズキノメイガ	2500～7500倍					
アスパラガス	コナジラミ類	2500倍	100～500ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ジュウシホシクビナガハムシ	2500～5000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数
食用ぎく きく(葉)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
食用ミニバラ	コナジラミ類	2500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 オオタバコガ	2500～5000倍					
てんさい	ヨトウムシ シロオビノメイガ	5000～7500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャハマキ ヨモギエダシャク チャトゲコナジラミ ニトベミノガ	2500～5000倍	200～400ℓ	摘採前日まで	1回	散布	1回
みしまさいこ	ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	4回以内 (1年間に2回以内)	散布	4回以内 (1年間に2回以内)
花き類・観葉植物 (りんどうを除く)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ	2500～5000倍	100～300ℓ	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500倍					
りんどう	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ リンドウホソハマキ	2500～5000倍	100～300ℓ	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	クロバネキノコバエ類 コナジラミ類	2500倍					
わた	アザミウマ類	2500倍	100～300ℓ	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	オオタバコガ	2500～5000倍					
樹木類	ハマキムシ類	2500～5000倍	200～700ℓ	発生初期	2回以内	散布	2回以内

使用上の注意事項

●使用前によく振ってから使用してください。
●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせ調節してください。
●散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
●間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蚕に給餌しないでください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
〇ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
〇受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
〇関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
〇散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
〇散布にあっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
〇散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
〇散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
〇散布終了後は次の事項を守ってください。
・使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。